

昭和52年調査の概要

どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲

いつ（調査期間）

昭和52(1977)年1月23日

だれが（調査した人）

横須賀考古学会

調査概要

所在地 神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ246番3

調査面積 20m²

調査原因 個人住宅建設に伴う調査

主な遺構 溝状遺構

主な遺物 弥生土器片

特記事項

2m×2mのグリッドを2ヶ所設定し、遺構遺物の確認をおこなった。1つのグリッドから幅1.1m、深さ50cmの溝状遺構が検出されたが、他のグリッドからは遺構は確認できなかった。また、建設予定地南側から幅3m、深さ50～80cmの溝状遺構が検出され、その覆土より弥生中期の宮ノ台式土器が固まった状態で出土した。これらの溝状遺構は14次B地点の調査により方形周溝墓の溝であることがわかった。（参考文献：

『三浦市赤坂遺跡』・昭和52(1977)年11月）



溝状遺構の調査風景
(所蔵：三浦市教育委員会)



検出された溝状遺構
(所蔵：三浦市教育委員会)